

(様式2)

令和3年度ふるさとキャリア教育モデル事業実施報告書

1 事業地域の概要

教育委員会名	北栄町教育委員会	
教育委員会 担当者及び連絡先	所属・役職	教育総務課・主幹兼指導主事
	氏 名	妙泉 直子
	電 話	(0858) 37-5870
対象となる学校名	北栄町立北条小学校、大栄小学校、北条中学校、大栄中学校 鳥取県立鳥取中央育英高等学校	
実務担当者名	北栄町教育委員会・主幹兼指導主事・妙泉 直子	

2 目的

ふるさとキャリア教育を推進するモデル地区として、北栄町教育委員会と各学校との協働、及び鳥取中央育英高等学校と連携を図りながら、コミュニティ・スクール、キャリア・パスポート、地域副読本の効果的な活用を探ることを通して、子どもたちが北栄町を身近に感じ、将来の北栄町の担い手としての意識を高めていく。

3 内容

(1) 各学校の実態

- 北栄町の自然、産業、文化、歴史等への理解を深め、ふるさと北栄町に誇りと愛情をもつ子どもたちの育成のため各小学校で地域副読本を活用している。
- 昨年度はキャリア・パスポートをまずは使っていくことからのスタートであったが、今年度は各学校の取組及び成果と課題及び疑問点の共有等により、キャリア・パスポートの効果的な活用に向けた意識の高揚が図れた。
- 昨年度の学校評価における「ふるさとキャリア教育」の実施に係っては、「概ね良好な取組」であったが、コロナ禍で中学校の職場体験学習や小中、幼小の連携に係る交流が中止となったために、各学校が形態を工夫しながら取り組んだ。令和3年度からは各中学校区で学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとして活動が始まり、より一層地域や校種間での協働的な活動が進んだ。

(2) 目標及び成果指標（取組指標）

- 児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの肯定的回答が8割以上
- 地域副読本活用の工夫

(3) 取組の内容

- 各中学校区における、保・こ・小・中・高連携充実、及びキャリア・パスポートの効果的な活用に係る取組推進。校種間で引継ぎについての検討
- 児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの実施による実態把握
- 地域を学び、まちを支える人づくりの推進
 - ・地域学校協働活動の推進及び活用
 - ・地域副読本の活用
 - ・中学生と町長が町づくりを語る会
 - ・鳥取中央育英高校「地域探究の時間」

- 豊かな心と社会性を育む教育の推進
 - ・職場体験学習（ワクワク北条、わくわく大栄）
 - ・生き方を学ぶ講演会
- 小・中・高におけるふるさとキャリア教育校区别年間指導計画の作成
- 保・こ・小・中・高の各校種間の交流や連携「向ヶ丘レインボープラン」「ドリームプロジェクトX」により児童生徒の課題や育ちを共有し一貫した教育を充実
- 各中学校区のコミュニティ・スクールによる家庭・地域との連携・協働の推進
 - ・通学路の見守り、あいさつ運動
 - ・小中学校での学習支援
 - ・小学校での読み聞かせ活動
 - ・伝統芸能等の指導や伝授 等



家庭科ミシンの学習支援



中学生による読み聞かせ

○各校の主なふるさとキャリア教育の取組

【北条小学校】

6月24日(木)	○北条砂丘芝植え体験（4年生・総合）	
9月28日(火)	○町探検（2年生・生活）	
10月～11月	○一人暮らしの高齢者へのメッセージ（2年生）	
11月9日(火)	○植樹体験（4年生・総合）	
11月16日(火)	○生き方を学ぶ講演会（5・6年生）	
11月22日(月)	○ほうじょう大トーク大会（6年生） ・中学生・地域の大人とともに地域のSDG sについて話し合う	
1・2学期	○ブドウハウスがやってきた（3年生） ・特色ある学校づくりとして「みんなのブドウハウス」を地域や保護者とともに建設し、地域の特産であるブドウづくりについて学習	
通年	○クラブ活動（4～6年生） ・地域の伝統芸能等に取り組む（北条砂丘太鼓、調理クラブ、かるたクラブ）	
	○こども園との交流	

町探検（学習ボランティア）

【北条中学校】

5月31日(月)	○地域の歴史（2年生・社会）
7月2日(金)	○郷土のよさを伝えよう（2年生・国語）
10月8日(金)	○高齢者との交流（1年生・総合）
10月19日(火)	○生き方を学ぶ講演会（全校）
11月	○一人暮らしの高齢者へのメッセージ（1年生、執行部）
	
	高齢者へのメッセージ贈呈
11月22日(月)	○ほうじょう大トーク大会 ・小学生・地域の大人とともに地域のSDGsについて話し合う
12月3日(金)	○中学生と町長が町づくりを語る会（1年生）
12月15日(水)	○人生の「中先輩」に学ぶ～福祉について～（1年生）
2月3日(木)	○人生の「中先輩」に学ぶ（1年生） ※中先輩…現場で働く世代
通年	○部活動で小学生との交流

【大栄小学校】

6月10日(木)	○町探検（2年生・生活）
6月9日(水)	○スイカ選果場、園芸試験場の訪問（3年生・総合）
21日(月)	
10月	○一人暮らしの高齢者に絵手紙を送ろう（4年生）
10月25日(月)	○由良川音頭のひみつ（3年生・総合）
	 
	由良川音頭のひみつ（学習支援・伝統芸能の伝承）
11月2日(火)	○大栄中学校白熱大討論会（6年生） ・中学校での討論会を参観
11月19日(金)	○生き方を学ぶ講演会（6年生）
11月	○大栄の自慢を見つけよう（3年生・総合）

通年	○「向ヶ丘レインボープラン」として小・中・高連携、交流活動を実施 中学生による読み聞かせ、執行部による小学校でのあいさつ運動 高校とのクラブ活動連携 ○こども園との交流
----	--

【大栄中学校】

10月18日(月) 10月19日(火) 10月20日(水) 11月2日(火)	○地域の食材で調理実習（2年生・家庭科） ○生き方を学ぶ講演会（全校） ○一人暮らしの高齢者に絵手紙を送ろう ○大栄中学校白熱大討論会 ・生徒・地域・教員がテーマに沿って討議 「魅力的な部活動について～『e スポーツ』は部活動として、受け入れられないの？～」 「北栄町が日本一住みたい町になるために」
---	--



白熱大討論会



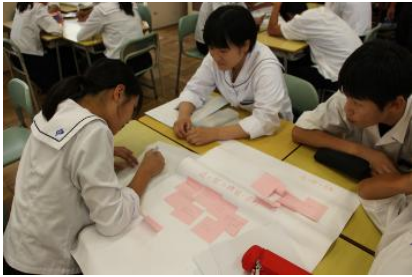
12月13日(月)
12月15日(水)
2月4日(金)
通年

- 北栄町の魅力を英語でプレゼンテーション（3年生・英語）
- 中学生と町長が町づくりを語る会（2年生）
- 社会人に学ぶ（1年生）
- くろぼく太鼓復活プロジェクト
 - ・中学生が途絶えていたくろぼく太鼓の復活を提案。地域からの指導も受け活動を再開した。小学生もメンバーに加わり活動中。
- YouTu部
 - ・特色ある学校づくりの一環として地域の魅力を生徒が動画配信
- 「向ヶ丘レインボープラン」として小・中・高連携、交流活動を実施
中学生による読み聞かせ、執行部による小学校でのあいさつ運動
高校の先生による体育水泳指導、中高部活動交流、高校入試面接指導 等



YouTu部

【鳥取中央育英高等学校】

4～11月 12月8日(水) 2月 通年	○地域探究入門（1年生） ○地域探究フィールドワーク（2年生） ○校外探究活動（3年生希望者） ○地域探究の時間・グループ発表 ○北栄町高校生議会（2年生） ○夢ゼミ（全学年希望者） ・地域で活躍する大人とのゼミ授業 ○北栄ツアー（全学年希望者） ・北栄町の名所ガイド役を高校生が行う  地域探究入門  北栄ツアー ○「向ヶ丘レインボープラン」として小・中・高連携、交流活動を実施 小学校でのクラブ活動連携 中学校体育の授業での水泳指導、中高部活動交流、高校入試面接指導 等 ○ボランティアサークルの立ち上げ
--	--

（４）事業の実績

時 期	事業（活動）内容
6月22日(火)	○第1回北栄町「ふるさとキャリア教育モデル事業」連絡協議会 ・各校の実態共有 ・キャリア・パスポートの効果や課題について ・校種間引継ぎ後の活用について ・小中高連携について
7月中旬	○実態把握のためのアンケート（児童・生徒・教員）
7月30日(金)	○新任・転任教職員対象研修「北栄町指導に役立つ町内めぐり」
8月18日(水)	○第2回北栄町「ふるさとキャリア教育モデル事業」連絡協議会 ・ミニ研修「キャリア・パスポートから見るキャリア教育について」 ・アンケート結果の分析 ・今後の方向性について
2学期	○各校「ふるさとキャリア教育」取組の整理および校区别年間指導計画の作成

2月中旬	○実態把握のためのアンケート（児童・生徒・教員）
3月1日(火)	○第3回北栄町「ふるさとキャリア教育モデル事業」連絡協議会 ・各校の取組及び成果と課題について ・アンケート結果の分析 ・来年度の取組について

4 取組結果

(1) 成果

○児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの肯定的回答が8割以上

- ・児童生徒対象アンケート「北栄町のことが好きですか」小学生94%⇒93%、中学生91%⇒89%と後期のほうが肯定的回答をした児童生徒の割合は減っているが、全体的に高い。「地域の良いところや人々に対する理解が深まりましたか」という項目では小学生73%⇒75%と割合が高くなっていて、各校での授業実践等の成果が表れている。
- ・今年度から町内の4小中学校全てで中学校区別学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールがスタートし、地域の方々に関わってもらう場面が増えた。地域の方からの肯定的な声掛けにより自己有用感が育まれたり、地域からも地域で出会った時に子どもたちのほうから声を掛けてくれて嬉しいといった声も聞かれたりした。
- ・教員へのアンケート結果では、「ふるさと鳥取県及び北栄町に愛着と誇りを持ち、郷土を支える人材を育成しようと思いましたか?」という設問に対して小学校32%⇒43%、中学校27%⇒34%と事後アンケートでは肯定的な回答が増えた。2学期を中心にふるさとキャリア教育を意識した授業実践が進んだと思われる。
- ・鳥取中央育英高校では「地域探究の時間」での学びを生かし、進学や就職を決める生徒が多かった。2年生では「地域探究の時間」の事前事後アンケート結果をみると自己肯定感が高まる生徒が多くなった。



地域の人と稲刈り（あつまらいや北条）

○地域副読本の活用

- ・「わたしたちの北栄町～まちの姿～」を小学校3年生で、「わたしたちの北栄町～歴史・人物編～」を小学校6年生で配布し、調査学習や社会科授業等で活用。また、今年度北栄町に赴任された先生方には地域副読本を配布し周知するとともに、「北栄町指導に役立つ町内めぐり」として町内の施設や文化財等での現地研修を実施。副読本の内容を現地で確認することができ、その後の授業実践に結びついている。

(2) 課題

- ・担当者会で、ふるさとキャリア教育やコミュニティ・スクールの取組が一部の教員、担当者だけで進められているといった課題が明らかになり、各校とも学校全体での取組としていくための組織づくりが必要である。

また、教員の中にはキャリア・パスポートは特別に作成しなくてはいけないものであるとやらされている感を持っていたり進路学習ではないかと捉えていたりする者もある。キャリア・パスポートが新しい取組ではなく、導入前から行っている授業の振り返りや学期ごとのまとめなどと大きく変わっていないことや、さらにふるさとキャリアの視点を持って実践を進めていくことを意識すればよいのだという理解をさらに進めていくことが必要である。

- ・児童生徒アンケートの「地域の行事や活動に参加していますか」小学生81%⇒79%、中学生74%⇒66%と、参加の割合が前期より後期のほうが若干減少している。新型コロナウイルスの影響で地域行事が中止・縮小となったためではないか。また、小学生より中学生の割合が低い、小学生を対象とした地域行事が多いことや中学生は部活動などで時間がとりにくいことなども影響していると思われる。
- ・全体を通して前期より後期のほうがどの項目も下がっており、また目標としていた8割に届かなかった項目もあった。アンケート実施の時期が2月中旬ごろだったので、これまでに学習した内容を忘れてしまっている子どももいたようである。アンケート実施の時期や子どもたちへの声掛けにも検討が必要である。
- ・保・こ・小・中・高の各校種間の交流や連携「向ヶ丘レインボープラン」「ドリームプロジェクトX」に取り組んでいるが、交流活動だけでなく課題や子どもの育ちの共有化をさらに進めていく。

(3) 次年度の取組

- ・ふるさとキャリア教育の校区别年間指導計画を作成し活用

小中高12年の子どもの育ちについて共有し、ふるさとキャリア教育で育てていきたい子どもの姿のベクトルをそろえていく。子どもがどの段階でどのような学習をしているのかを意識しながら各校での実践を進める。さらに交流だけにとどまらない小中高連携を模索していく。

- ・コミュニティ・スクールとの連携

ふるさとキャリア教育の取組をさらにコミュニティ・スクールの動きと連動させ、学校全体で進めていく。地域を意識した学習や活動、地域の人との関わりの中で学びが一層深まり、児童生徒の地域理解や郷土愛の意識を育成する。

(様式2)

ふるさとキャリア教育モデル事業実施報告書

1 事業地域の概要

教育委員会名	北栄町教育委員会	
教育委員会 担当者及び連絡先	所属・役職	主幹兼指導主事
	氏 名	浪花 英樹
	電 話	(0858-37-5870)
対象となる学校名	北栄町立北条小学校、大栄小学校、北条中学校、大栄中学校 鳥取中央育英高等学校	
実務担当者名	〈学校（教育委員会）・職名・氏名〉 北栄町教育委員会 主幹兼指導主事 浪花 英樹	

2 目的

ふるさとキャリア教育を推進するモデル地区として、北栄町教育委員会と各学校との協働、及び鳥取中央育英高等学校と連携を図りながら、コミュニティ・スクール、キャリア・パスポート、地域副読本の効果的な活用を促すことを通して、ふるさとキャリア教育の充実を図る。

3 内容

(1) 各学校の実態

- 北栄町教育の基本理念「学びを通して夢を実現する人づくり」を核とした、北栄型教育を推進している。(2020年度北栄町教育関係要覧)
- 北条中校区における「ドリームプロジェクトX」(こ・小・中連携事業)及び大栄中校区における「向ヶ丘レインボープラン」(保・こ・小・中・高連携事業)により、小中合同授業研究会、学び力向上アクション週間等の取組を通して、児童生徒の課題や育ちを共有し、一貫した教育の充実を図っている。
- 令和2年度から大栄中学校がコミュニティ・スクールとなる(大栄小及び北条小・中は、令和3年度から)。既存の「向ヶ丘レインボープラン」を活用した小・中、中・高、保・こ・小等の各校種間の交流や連携を継続しつつ、家庭・地域との連携・協働による教育の推進を図っている。

(2) 目標及び成果指標(取組指標)

- ・児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの肯定的回答が8割以上
- ・地域副読本の活用(対象学年)
- ・学校評価アンケートによる肯定的回答が8割以上

(3) 取組の内容

※取組の様子が分かる写真等の提出

○豊かな心と社会性を育む教育の推進

- ・職場体験学習(ワクワク北条、わくわく大栄)
- ・生き方を学ぶ講演会

○保・こ・小・中・高連携の充実

こども園、保育所・小・中・高連携のもと、異年齢間の交流や活動を通して、子どもの仲間づくりや連続する子どもの育ちを保障するために、教職員の連携を図り、学校間の滑らかな接続を進めます。

- ・ドリームプロジェクトX(北条中学校区)
- ・向ヶ丘レインボープラン(大栄中学校区)

○地域を学び、まちを支える人づくりの推進

豊かな自然や先人たちが築いた歴史を知り、地域の持っている魅力、地域の課題や地域の将来展望を学ぶことにより、まちに愛着や誇りを持ち、将来地域に貢献する志の高い人材の育成を進めます。

- ・コミュニティ・スクールの推進及び活用
- ・地域副読本の活用
- ・中学生と町長が語る会
- ・鳥取中央育英高校との「地域探究の時間」

○キャリア・パスポートの効果的な活用

- ・全体計画・年間指導計画の活用

(4) 事業の実績

時期	事業（活動）内容
6 月	○北栄町教育連絡会において、各学校長及び園長に周知 ○第1回北栄町C S（コミュニティ・スクール）推進委員会
9 月	○2020年度第1回北栄町ふるさとキャリア教育連絡協議会の開催 1. 説明及び情報共有 (1) 「ふるさとキャリア教育」モデル事業について（県教委、町教委） (2) 学校における「ふるさとキャリア教育」の取組の実際について ・校種間連携 ・地域教材の活用 ・コミュニティ・スクール ・キャリア・パスポート ※課題と感じている点や疑問点等について共有 2. 協議 (1) 連絡・報告 (2) 協議（キャリア・パスポートの効果的な活用について） 3. 情報交換 (1) キャリア・パスポートの活用状況 (2) 校種間及び家庭・地域との連携による取組 ○第2回北栄町C S推進委員会
3 月	○2020年度第2回北栄町ふるさとキャリア教育連絡協議会の開催 1. 各学校における取組及び成果と課題について（情報共有） 2. ミニ研修（nits校内研修シリーズ「キャリア教育の実践」視聴） 3. 来年度の取組について ・キャリア・パスポートの内容及び活用について 4. 連絡・報告 ・アンケートの実施及び集計、活用について 5. 協議 ①キャリア・パスポートの引継ぎ・管理について ②今年度の課題と成果及び次年度の取組について 6. 情報交換 ①キャリア・パスポートの活用状況（振り返り、家庭との共有等） ②各学校・学年におけるキャリア・パスポートの効果的な活用

4 取組結果

(1) 成果

○連絡協議会（町教委主催・年2回）を開催し、理論研修の実施、各学校の取組及び成果と課題及び疑問点の共有等により、キャリア・パスポートの効果的な活用に向けた意識の高揚が図れた。（別紙）

・「町たんけん」はどうでしたか。

つけ方	◎	○	△
	よくできた	まあまあできた	あまりできなかった
元気よくあいさつができましたか。	☒		
大きなこえでしもんできましたか。	☒		
あいての目を見て、お話を聞くことができましたか。	☒		
ともだちとなかよくできましたか。	☒		
あんげんに気をつけてできましたか。	☒		
やくそくをまもることができましたか。	☒		

★ たんけんをして思ったことや分かったことを書きましょう。

やくばは、25年はたらいでいてす
こころをいまして。こなんぞ
がへいせい11年にておていること
がわかりました。やくばがし
らべものやさんだんをしいてが
んばあさんだんをしいてが
一日にがそんをいれに90だいて
さいたいするのがすごいなと思
いました。
やくばと青山車りょうのみなさんの
かみばりが分かってよかったです。



○各学校にて対象学年による地域副読本を活用し、北栄町の自然、産業、文化、歴史等への理解が深まったり、ふるさと北栄町に誇りと愛情を育んだりすることができた。

○学校評価における「ふるさとキャリア教育」の実施に係っては、「概ね良好な取組」であったが、コロナ禍で中学校の職場体験学習や小中、幼小の連携に係る交流が中止となったために、各学校が形態を工夫しながら取り組んだ。

○児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの実施

⇒課題に記載

(2) 課題

○児童生徒及び教職員を対象としたアンケート未実施

＜未実施の理由＞コロナ禍での活動制限により、児童生徒及び教職員の実態を把握するためのニーズが高まらなかったため。

○取組初年度であったために、キャリア・パスポートを作成することが当面の目的となってしまった。キャリア・パスポートの効果的な活用に向けた実践や情報共有を充実させる必要がある。



(3) 次年度の取組

○各中学校区における、こ・小・中・高連携充実に
向けたキャリア・パスポートの効果的な活用に係る取組推進

○児童生徒及び教職員を対象としたアンケートの実施

○キャリア・パスポートのデータ化に向けた検討